

仮囲いデザインコンテスト開催 記者会見を行います

全国建設業協同組合連合会（全建協連）は、建設業の魅力発信のため、『「工事中と人々結ぶインターフェイス」を実現する』をテーマに、仮囲いデザインコンテスト開催します。また、本コンテスト開催に関し、10月23日に記者会見を行います。

◆コンテストキャッチコピー：

五輪に向けて 東京の現場を 学生が彩る
—仮囲いは白いキャンパス 学生のアイデアを実現するプロジェクト—

◆コンテスト開催趣旨：

全国建設業協同組合連合会（全建協連）は、建設業の魅力発信のためのプロジェクトを展開しています。

「ユニフォームデザインプロジェクト」、「一緒に考えよう KOJICHU プロジェクト」、若い人たちと一緒にあって建設業で働く人たちの「誇り・魅力・やりがい」についてデザインを通して考えてきました。

今年度の「仮囲いデザインプロジェクト」は、施工中の現場（東京駅3分・永代通り沿い）の仮囲いなどを通して建設業の魅力を発信し、学生の皆さんがみずみずしい感性で考えたデザインを実際に実現させてみようというプロジェクトです。

◆コンテストテーマ：『「工事中と人々結ぶインターフェイス」を実現する』

とかく工事中の建物は仮囲いに囲まれ、足場や養生シートに覆われて中の様子を伺い知ることができません。でも昔は住宅街の中でも新築中の家の現場では大工さんの働く様子がよく見えて、子どもたちは時々大工さんにかんな屑や材木の切れ端なんかもらったりして、家が建ち上がるのを見るのがとても楽しみでした。

もう一度そんな工事現場がつかれないでしょうか？ 工事中の現場を包み隠すのではなく、日々建ち上がる建築の楽しさや力強さ、美しさを伝えるものにできないでしょうか。それが今回の課題です。

そこに働く人々にとってはそれが晴れ舞台となり、それを見守る人々にとっては建築が刻々と変化し築かれて行く様を観賞する観覧席となるようなアイデアを募ります。

グラフィックなどの単なる仮囲いのデザインを超えて、今年度は「工事中」と「人々」を結びつける「インターフェイス」のデザインを実際の現場に製作します。

◆コンテスト参加資格：大学院生、大学生、高等専門学校生、専門学校生、高校生を対象（3人以上のグループで応募）

◆スケジュール：	・ 応募登録開始	令和元年 10 月 23 日（水）
	・ 応募登録締切	令和元年 12 月 17 日（火）
	・ 作品提出締切	令和 2 年 1 月 28 日（火）
	・ 1 次審査発表	令和 2 年 2 月 5 日（水）
	・ 公開プレゼンテーション	令和 2 年 2 月 25 日（木）
	2 次審査・結果発表	
	・ 対象工事現場での採用	令和 2 年 3 月中旬～着工
	・ (仮) 除幕式	令和 2 年 5 月～6 月

◆記者会見日時：令和元年 10 月 23 日 12 時 40 分 国土交通省（中央合同庁舎 3 号館）5 階会見室

問合せ先

全国建設業協同組合連合会

会 長 青 柳 剛 (090-3140-0753)

104-0032 東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館 4 階

電話：03-3553-0984 FAX：03-3553-0805 Mail：jimukyoku@zenkenkyoren.or.jp

専務理事 福 田 和 彦

総務部長 遠 藤 幸 夫 (090-6147-0397)

「仮囲い」とは？

工事現場、加工場、資材置場などの周囲を、工事期間中かりに囲う囲い。
作業場、加工場、置場などの区画を明らかにし、関係者以外の立入禁止、
盗難防止、区画外への資材、粉塵などの飛散防止などをおもな目的とする。
(「ことばんく」より)

●昨年度の優秀賞作品となった「チーム・ナスパティ」のデザイン (一部)

クリアフェンスデザイン

子供達が学べる1:1の実寸大のスケール感が分かるこの仮囲いこそ建築を身近に感じるきっかけになる。



●実際の仮囲いに採用された様子



*長野県中野市の八十二銀行中野支店建築現場 (令和元年5月16日の除幕式の風景)